

No.1 経営継承後の農業法人における
ねぎ、うめの規模拡大と生産性向上

- 活動期間 令和7年度～令和9年度

対象者名 株式会社舘島田ファームDero（役員3人、社員2人）

課題の背景
 - 「株式会社舘島田ファームDero」は、令和6年1月に「農事組合法人舘島田生産組合」から組織変更した法人で、前組織の若手従業員3人が役員として経営を継承した。法人では令和9年度の年間売上1億円を目標にしており、達成のために園芸部門の売上向上が必須となっている。
 - ねぎ、うめの基礎的な栽培管理に課題があり、技術・知識の向上が急務となっている。適期作業の実施に向け、法人運営の面では、効率的な組織運営を行うために労務配分や作業計画の再検討が必要である。

令和7年度

目 標	活動事項	普及活動のポイント
■ ねぎ、うめの栽培に関わる基礎的技術と知識の習得が図られる 	◆ ねぎの収量向上に向けた栽培管理指導 ・圃場巡回、栽培指導 ◆ うめの新改植に向けた栽培管理指導 ・栽培指導	■ ねぎは育苗や病虫害防除を中心に指導を行い、特に育苗の技術・知識の向上が図られた。 ■ 施肥設計の見直し、防除スケジュールの作成等を行い、栽培技術の確立を図った。 ■ 今後の収量と品質の向上に向けて、法人に合った適正な栽培体系を検討した。 ■ うめは苗木管理やせん定、防除等を中心に指導を行い、苗木管理の基礎的技術の習得が図られ、適期防除等により収量も向上した。 ■ 今後の園地拡大に向け、作業性向上を目指したせん定等の管理についても指導し、法人全体の技術向上が図られた。
■ 労務配分計画の進行管理のための情報共有の場が持たれる 	◆ 労務配分計画作成及び実施への支援 ・話し合いの場の設定 ・進捗管理の方法の提案	■ 労務配分計画作成のために話し合う場を設け、作業計画の作成や振り返りを行った結果、情報共有の重要性について認識が深まった。 ■ 役員内で労務配分計画や作業の進捗状況の管理体制が検討され、進捗状況の共有や振り返りの定着に向けたモニターの導入等、体制整備が進められた。

次年度の活動事項

- ねぎの収量向上に向けた適期管理指導
 - うめの園地拡大に応じた栽培管理指導
 - 労務配分計画実践に向けた支援

定量的数値目標

R6 (現状) R7 R8 R9

ねぎの収量 (/10a) : 1.5t → 1.8t → 2.1t → 2.5t

(実績1.5t)